

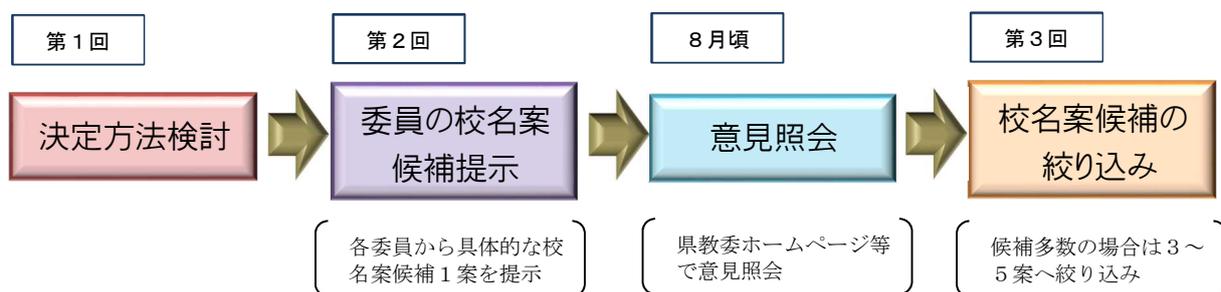
## 校名案の方向性について

## 1 校名案検討の流れ

## 【B案（事後意見照会方式）】

開設準備委員会委員から提示された校名案候補について県教育委員会ホームページ等で意見照会し、その結果を踏まえて開設準備委員会で校名案候補を絞り込むもの。

第1回委員会で提示したイメージ



## 2 校名案の方向性の検討

## 検討の進め方

各委員が提示した「校名案候補」及び「その校名案候補とした理由」の内容について確認する。なお、第2回開設準備委員会では校名案候補の絞り込みは行わないが、その方法を協議する。

## 【校名案の方向性】

### 3 校名案候補一覧10件（50音順）

NO	校名案候補	校名案候補とした理由
1	<p>きたごちゅうおうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>北五中央高等学校</p>	<p>「西北五」や「北五」という名称は古くからこの地域に根ざし、呼び聞き慣れた地域名称である。今回の統合は、北津軽郡（板柳町・鶴田町）と五所川原市の高校の対等統合であるため、この名称を提案した。</p> <p>また、「中央」は北津軽郡と五所川原市の中心という意味で提案した。</p>
2	<p>ごしょがわらこうかこうとうがっこう ごしょがわらこうがくいんこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原工科高等学校 又は 五所川原工学院高等学校</p>	<p>統合校は、普通科・機械科・電気科・電子機械科の4学科5学級の構成である。</p> <p>工業の各学科では、工業の見方・考え方を働かせて、ものづくりを通じて健全で持続的な地域や社会の発展を担う人財の育成に向けた教育活動が継続展開される。</p> <p>普通科は、文理類型にこだわらない科目履修ができるカリキュラムの編成と工業の各学科との連携によって、「科学」「技術」「工学」「数学」の分野を関連付けながら学べる学科となることが期待できる。</p> <p>このことから、校名は、統合校の教育活動がイメージされやすいことも考慮して、地名の「五所川原」に「工科」を付した「五所川原工科高等学校」若しくは「五所川原」に「工学院」を付した「五所川原工学院高等学校」としたい。</p>
3	<p>ごしょがわらこうぎょうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原工業高等学校</p>	<p>統合校が五所川原市・北津軽郡（板柳町・鶴田町）と広い範囲にわたっており、地域を包括した適当な校名を考えることが難しいと考える。</p> <p>また、工業科の生徒についてはこれまでの積み重ねられてきた進路実績が各企業に伝わりやすいと考える。</p> <p>統合校では普通科クラスにおいても、キャリア教育を通して工業科に関わる内容も学ぶことができることや、工業科の生徒との交流も加わって、進路選択の幅がより広がっていくことから提案した。</p>

NO	校名案候補	校名案候補とした理由
4	<p>ごしょがわらしがくかんこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原志学館高等学校</p>	<p>今までの校名にとられることなく、4校統合をまっさらな気持ちで考えたい。「志学」は論語に出てくる言葉であり、新しい学校に集う生徒が、それぞれに志を立て、自分の目標を目指し、真摯に学びに取り組んでほしいと考えた。</p> <p>「館」を付けたのは、4校が1つの屋根の下に集い、目標に向かって学びに取り組んでほしいと考えたことによる。また、県内には「館」の付く高校がなく、音の響きも新鮮であることから、新設校にふさわしいと考えた。</p>
5	<p>ごしょがわらじつぎょうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原実業高等学校</p>	<p>五所川原市に設立する統合校ということで、「五所川原」を冠する。</p> <p>工業科と普通科を設置するという意味合いでそれらを併せ持つ「実業」を付す。なお、「実業」には専門学科のみというイメージがあるが、全国的に見れば進学等に力を入れている普通科のある学校もある（早稲田実業高校、鹿児島実業高校等）。また、第1期実施計画の西北地区統合校における教育活動に記されている、「普通科においては、金木高校、板柳高校、鶴田高校における特色ある教育活動を引き継ぎ、国際理解、地域ビジネス、生活産業に関する教育に取り組む」という点からも「実業」はふさわしいと考える。更には「実業」を付すことで、将来的に学科・コースの柔軟な変更も可能となる（例えばビジネス学科・コース、スポーツ学科・コース等）と考える。</p>
6	<p>ごしょがわらそうごうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原総合高等学校</p>	<p>統合校の所在地が「五所川原市」であるという点と、普通科と専門学科の工業科の併設なので、お互い連携を取って、特色のあるカリキュラムを組み、西北唯一の「専門性のある総合的な高等学校」という点から、地名である「五所川原」に加え「総合」を付した。</p>

NO	校名案候補	校名案候補とした理由
7	<p>ごしょがわらとうごうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原統合高等学校</p>	<p>地名部分に「五所川原」を選択した理由には、統合校の設置場所が五所川原市で決定していること、また、統合される4校の所在地名全てを盛り込むことは不可能に思われたことの2つが挙げられる。</p> <p>地名の次の部分に「位置」や「専門学科」を示す語句を選択しなかった理由には、過去に例のない4つの高等学校を統合すること、普通・機械・電子機械・電気の4つの学科で発足することの2つが挙げられる。「統合」を選択した理由は、「位置」や「専門学科」以外にはなるが、校名を目にし、耳にするたびに、人々が統合になった4校のことを思い起こしてくれるように感じたからである。</p>
8	<p>ごしょがわらみなみこうとうがっこう</p> <hr/> <p>五所川原南高等学校</p>	<p>これまで校名には原則として所在地の地名を冠してきたこと、統合校が五所川原市の南方に位置すること、五所川原市内には五所川原南小学校もあり校名として広く親しまれていることを考え提案した。</p> <p>また、短くてシンプルな校名の方が将来的にも飽きがこないと考え「五所川原南高等学校」とした。</p> <hr/> <p>普通科と工業科を含む新設校ということから、今までの「工業」を冠した校名は、違和感を持つ人もいると思われる。</p> <p>校名に関しては、地理的状況から判断すると五所川原の南に位置することから、「五所川原南高等学校」がふさわしいと考える。</p>
9	<p>ちいきそうせいこうとうがっこう</p> <hr/> <p>地域創生高等学校</p>	<p>地域に愛着を持ち、地域課題に関心を寄せ、その解決に貢献できる人財育成を目指す学校になってほしいという願いを込め「地域創生高等学校」とした。</p>
10	<p>つがるちゅうおうこうとうがっこう</p> <hr/> <p>津軽中央高等学校</p>	<p>津軽地域の複数の市町に所在する高等学校の統合により新設されることを考慮して「津軽中央高等学校」とした。</p>

#### 4 その他の校名案候補に関する意見

「五所川原工業高等学校」の校名をそのまま使用してほしいと思うものの、新設する統合校としてはどうかと考えさせられる（改名もやむなし）。各々の案を尊重しながらも工業の「工」の字だけは校名に入れてほしいと望む。